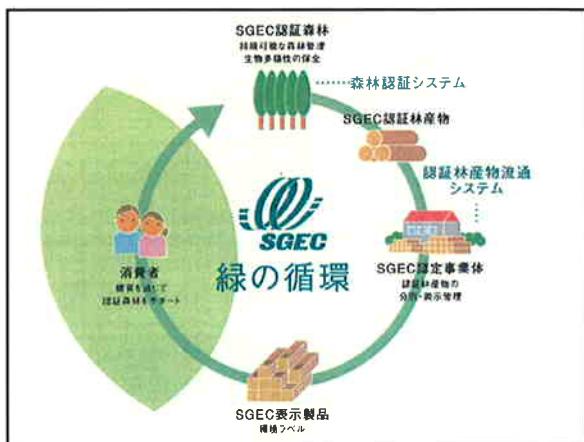


「緑の循環」認証会議（SGEC）



「日本にふさわしい森林認証制度」として、
2003年6月3日に誕生。
事務局は、(社)国土緑化推進機構内。

- 国産材の看板を掲げる森林認証制度
- これまで育んできた林業技術を尊重
- 全ての森林所有者に応える
- 広く一般市民の共感を得る
- 森林経営の体質改善を支援



SGEC森林認証システム
7基準・36指標

モントリオール・プロセスなど、「持続可能な森林管理」の考え方を基に、日本の現状にあわせてつくられた“国際性を備えた基準”です。

基準1 認証対象森林の明示およびその管理方針の確定
基準2 生物多様性の保全
基準3 土壤および水資源の保全と維持
基準4 森林生態系の生産力および健全性の維持
基準5 持続的森林経営のための法的、制度的枠組み
基準6 社会・経済的便益の維持および増進
基準7 モニタリングと情報公開

審査の視点 1

◆認証単位

「認証単位」とは、森林管理の目的、規模、自然条件、社会環境などの違いによる多様な認証審査を可能とするための基本的な考え方です。

- ・水土保全を重視した流域単位
- ・地産地消を目的とした地域材生産単位
- ・里山ボランティアグループ単位 etc.

審査の視点 2

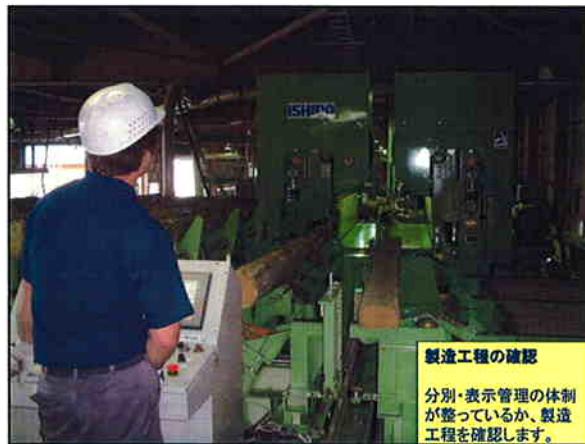
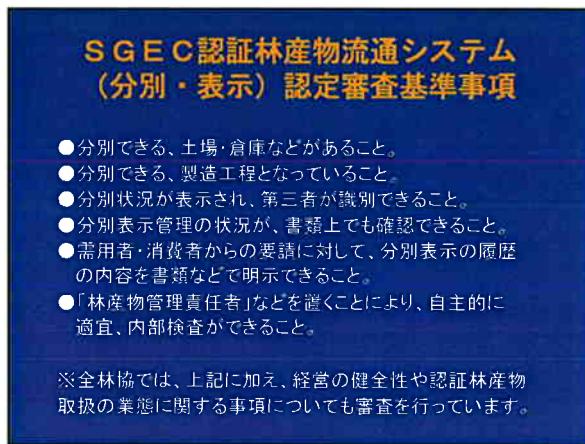
◆審査要件

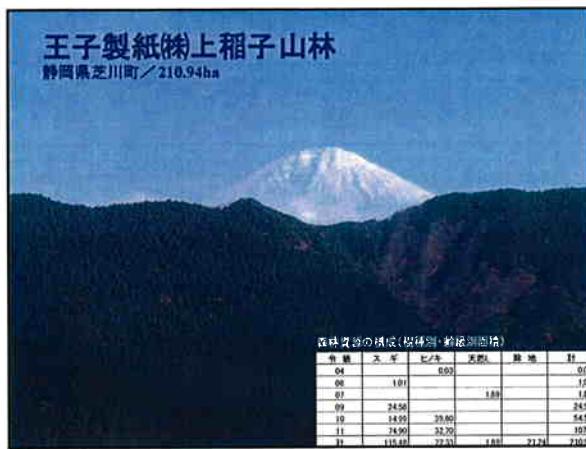
「審査要件」とは、認証を受けようとする森林（認証単位）の性格を考慮して、SGECが定めた7つの基準と36の指標、65のガイドラインに基づき、適切な評価項目からなる審査要件を個別案件ごとに設定して、これに基づき評価（審査）を行います。

審査の視点 3

◆現行の法制度との連携

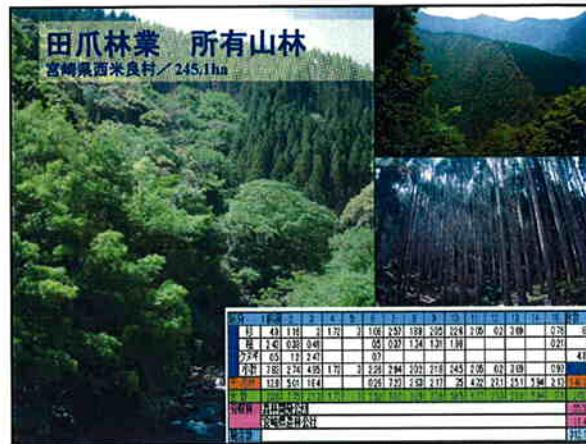
審査の実施にあたっては、森林施業計画制度など、現行の法制度を尊重します。生物多様性の保全など、これまで十分考慮されていなかった項目については、管理計画や技術指針などを作成していただきます。現行の法制度との連携により、コストを抑えるとともに、適正かつ効率的な審査を行います。





王子製紙株上稻子山林
静岡県芝川町／210.94ha

森林資源の現状・樹種別・輪直径別					
分類	木 級	ヒ/ヘク	面積	林地	計
04		0.05			0.05
06		1.01			1.01
07				1.01	1.01
09		24.56			24.56
10		14.95	39.00		54.00
11		74.90	32.70		107.60
31		115.48	77.31	1.00	212.79
					210.79



田爪林業 所有山林
宮崎県西米良村／245.1ha



宮崎県諸県県有林
宮崎県高岡町、綾町、野尻町／1575.79ha



佐藤木材工業(株)藻別社有林
北海道教別市／568.80ha



王子製紙(株)美瑛山林
北海道美瑛町／3151.88ha



奈良県川上村村有林
面積：1099.69ha